Korean program

慣習調査　黄海道地方

[illegible]

朝鮮總督府中樞院

復命書

大正十三年三月慣習調査ノ為メ黄海道地方ヘ出張ヲ命セラレ同月八日出發十六日歸廳調査復命書及提出候也

大正十三年三月三十一日

中樞院屬 寺澤德三郎

仝 玄陽燮

中樞院議長殿

海州郡ニ於ケル調査

農業 崔浩達
商業 李陽培
漢學者 呉寛泳
道廳道属 尹慶植

一 宗中及門中財産

宗中又ハ門中財産ノ取得原因ハ種々アルモ一門ノ出資、寄贈又ハ買入等ナルヲ普通トシ或ハ山林ノ禁養ニ因ルモノアリ

種類ハ田、畓、山林又ハ金銭等アルモ田畓ヲ所有スルモノ最モ多シ田畓ハ門中ノ者又ハ他人ニ

小作セシメ收益ヲ收ム山野ニハ植樹ヲ為シ禁養ヲ行ヒ以テ收益ヲ得ルヲ目的トシ又ハ墳墓ノ風致ヲ保ツ為メ禁養スルモノアリ、金銭アルモノハ貸附ヲ行ヒ利殖ヲ計ルモ多クハ他人ニ貸付シ門中ノ者ニ貸與スルコト少ナシ之レ一門中ノ者ノ間ニ於テハ返還ノ催促等ヲ行フ場合ニ情實ニ流カルヽコト多キカ故ナリ尚宗又ハ門中ニハ宗契、門契ヲ設ケ毎一ニ度ハ必ス會議ヲ為シ重ニ金銭ニ關シテ協議シ其收益ヲ以テ山坂、田畓ヲ買入ルヽ等ヲ定メ收支ノ決算ヲ行フモノトス

此財産ハ所有權ニ付テハ宗、門中ノ共有財産トカスルヲ普通トス而シテ管理スルモノハ宗孫之レ

二當ルモノアリ又他ニ管理者ヲ定ムルコトアリ宗孫ハ常ニ主管者タルコト多キノミ

宗中財産ノ名義人ハ宗孫ノ名ヲ以テスルモノ多シ而シテ宗孫ノ名ヲ書キ外何名ト側書キシタルモノヲ普通トシ以テ其宗中財産ナルコトヲ表シタルモノナリ

管理ノ方法ニ就テハ門中ノ協議ヲ以テ之ヲ定ムルモノヲ普通トス而シテ協議ハ秋期ノ收穫後時祭ノ際ニ一宗一門ノ會合スル時ニ於テ之ヲ定ム、管理者ニハ宗孫之レニ當ルコトアリ又ハ宗契ノ長之レニ當ルコトアリ或ハ特ニ選定シタル者ニ於テ管理スルコトアリト雖モ契長ニ於テ其任ニ當ルモノヲ

多シト爲ス契長ニハ門長之レニ當ルモノ最モ多シ

宗、門中ノ財産ハ營利ヲ目的トスルモノニアラズシテ常ニ山坂ノ保護費、墳墓ノ維持費、祭祀ノ費用等ニ當ルヲ目的トスルモノナルカ故ニ收益ノ大部分ハ墓直ノ費用、祭祀ノ時ノ經費ニ支出シ殘分アルトキハ積立又ハ他ノ財産ヲ買入ルルコトアリ

宗孫ハ祭祀田畓ノ收益ヲ以テ山坂、墳墓、祭祀ノ費用ニ使用スルコトヲ得ルモ其位田畓ノ處分ハ之ヲ許サス又墳墓、山坂モ固ヨリ處分ヲ許スヘキモノニアラス

宗、門中財産ニ付處分ノ必要アルトキハ宗、門中

ノ協議ニ依ルモノトシ宗孫ハ元ヨリ又門長モ之レカ
處分ノ自由ヲ有セス而シテ此財産ノ處分ヲ行
フ理由ニ至リテハ種々アルヘキカ收益減少ニ付有
利ナルモノト交換スル爲メニスルモノ或ハ一時ニ多
額ノ經費ヲ要スル事項相生シ處分スルモノアリ

二　宗中門中ヲ代表スル者

宗中門中ヲ外部ニ對シ代表スル者ヲ其事項ニ依ルヲ普通トス而シテ多クノ場合ハ宗孫、門長若クハ都有司等ヲ以テ之レニ當ラシムルモノ多シ都有司ハ門中ノ有力者ニシテ智識アル人ヲ選定スルモノニシテ重ニ財産管理ノ事務ヲ取ルモノナリ

祭祀ヲ行フ場合ニ於テハ宗孫ハ之レカ主管者トナルモノナリ又宗孫ノ名ニ於テ祭ノ祝文ヲ讀ムモノナリ其際ニ於ケル杯ヲ奉ク等ノトキモ又宗孫ヨリ始ムルモノトス夫レヨリ門長等ノ年長者ヨリ順次奉杯スルヲ例トス

門長トナルモノニ二種アリ即親等ノ高キ者ヲ門長トスル所ト又最年長者ヲ門長トスル所トアリ海州附近ニハ最年長者ヲ門長トスル慣例多シ

三　庶子アル者ト養子

嫡子ナクシテ庶子男アルモノモ以前ハ他家ノ嫡子タル男ヲ養子ト為シタル慣習アリシカ近来庶子男アルトキハ養子ヲ為サヽル様ニナレリ

庶子男アルモ養子ヲ為シタル譯ハ以前庶子タル者ハ高キ官職ニ就クコトヲ得サルト一般官職ニモ就クモノ少ナキカ故ト又庶子ハ一般ニ賤マレ祭祀ノ行ハルル場合ニ於テモ嫡子等ト席ヲ同フセシメサルノ慣習アリシ故ナリ然レトモ以前ト云ヘトモ庶子モ同シク實子ナリ道徳ノ高キモノハ庶子ヲシテ嗣子トシ養子ヲ為サヽルモノモアリシモノナリト云フ

茲ニ以前ト謂ヒ此等ノ慣習ノ行ハレタルハ甲午以前ヲ指スモノナリ

四　女戸主

女ノ戸主ハ従来ト云ヘトモ存在セリ之レハ男子タル相續人ノナキ場合養子モ求メ得サル場合ニ生スルモノトス

家ニ祖母、母、妻、女ノ在ルトキハ其戸主ト為ルモノノ順序ハ慣習上祖母、母、妻、女ノ順位ニ於テ之レニ就クモノトセリ而シテ戸主死亡ニヨリ最モ近キハ妻ナリ妻ヲシテ相續セシムルヲ可トスルモノヽ如キモ尊屬ヲ尊フト又妻壻カ財産ヲ處分シ又ハ去家ノトキニ不都合アレハナリト謂ヘリ

（ロ）

妻ハ今ヨリ又ハ合意ノナキニ不拘去ラルヽコトアリ離

ヘハ此ノ如キ婚姻ヲ無効トナス夫婦ハ別居ス

近ノハ妻ト妾トヲ区別シ備フルモ可ナルモ

ナリ如此ハ一ノ妻ノ外ニ一ノ妾ヲ置クコトヲ得

一夫一妻ハ国民ノ共ニ遵守スル所ニシテ妾ハ女ノ地位ヲ有スル者ニ非ス

嫡妻ノ子ハ嫡出子ニシテ妾ノ子ハ庶子トス

ナキヲ以テ

ニ婚姻ヲ為サントスル者ハ夫婦共ニ其ノ家ニ入ル

女ハ夫ノ家ニ嫁シ夫ノ戸籍ニ入ルコトヲ要ス

（ニ）女子ノ

五　相續ノ開始

相續ノ開始アルトキハ相續人其他ヨリ屆出スル等ノ慣例ナク相續シタルトキハ毎式年ノ戸籍調アルノ際死者ヲ除キ新戸主ヲ記入スルモノナリ其他戸主ノ変更アル場合ト云ヘトモ式年戸籍調ノトキマデ別段ニ屆出スル等ノコトナシ

式年ノ記載例モ何某何年何月死亡云々等ノ記入スルコトナク故何某ト記入シ新戸主名ヲ戸主ト記載スルノミナリ

財産名義モ別ニ一定ノ期間ニ変更ヲ要スル等ノ慣例ナク文券ノ所持者即チ相續人カ元戸主死亡ノ事實ヲ以テ是等ヲ書キ替ヘナシタルモノナ

リ而シテ従来田畓ハ奴婢ノ名ヲ以テ売買移転シタルモノ多ク所有者ハ文記ニ依リ何時ニテモ変更シ来タレルモノナリ

納税義務者ニ於テモ如斯ニ依リ他人ノ名義ニ於テ納税スルモノアリ而シテ地方ニ於テハ書員カ地方ヘ廻リ来タルトキ買主ハ名義ヲ変更スルコトヲ請求シ以テ自分ノ名ニ於テ納税スルニ至ルモノトス

六　土地ノ所有者變更ト納税

土地ノ賣買等ニ依リ納税義務者ノ變更スルハ特約アル場合ハ別トシ普通ハ其秋ノ收穫期ノ前後ニ依リテ納税義務者ヲ變ルモノトシ收穫期前ノ納税ハ前所有者、後ナレハ新所有者ノ負担スヘキモノトス

七　小作ノ變更時期

小作ノ變更ハ何時ニテモ行フモノニアラズ特ニ定ムル處ナケレハ小作ノ變更期ハ毎年冬至ヨリ立春前ニ之ヲ行フモノトシ故ニ立春ヨリ冬至マデノ間即チ耕作期中ニ於テハ行ハサルヲ通例トセリ

朝鮮総督府中枢院

八　分家

分家ヲ行フモノニ付テノ慣習上年齢ニ定マリタル所ナキモ凡ソ獨立ノ生經ヲ營ミ得ルニ至レル程度ト為スモノトス而シテ妻ヲ娶ラサルモノハ分家セサルモノトシ故ニ總髮ノ分家ナシ

庶子カ分家スル場合ニ於テハ未婚者ト云ヘトモ其父ノ妾即チ所生母ト共ニ分家スルコトアルヘシ然レトモ此地方ノ普通ノ慣例ニ於テハ庶子ト謂ヘトモ妻ヲ娶リタル後ニアラサレハ分家セサルモノトス又其父カ生存スルト死後ナルトニ依リ異ナル所ナシ

庶子ノ分家ニ付生母（父ノ妾）ハ當然分家ニ入ル

モノトシ父ノ生存中ナルト死後ナルトニヨリ異ナル慣習ナリ之庶子分家ト同時ニ生母モ分家ニ入籍ヲ入ルモノナリ、時ニハ庶子幼少ナルトキハ生母（父ノ妾）ヲ戸主トシ分家シタルモノナリト謂フ此意味ハ戸主幼少ナルカ故ニ事實上生母カ戸主ニ代ルモノト云フ觀念ヲ云フモノヽ如シ

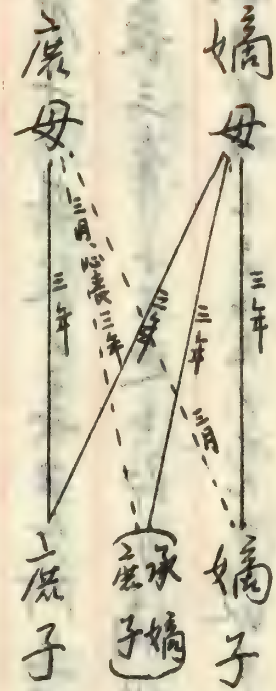
九 庶子カ嫡子ナクシテ承嫡セラレタルトキハ所生母（父ノ妾）ニ對スル服如何

庶子ニシテ承嫡シタルモノハ嫡母ニ對シテハ三年ノ服ニ着クモノトス此ノ場合ニ於テハ所生母ニ對シテハ三月ノ（緦麻）服ニ着キ且心喪三年ヲ行フモノナリ又嫡母既ニ死亡シタル後ト云ヘトモ承嫡シタル庶子ハ其父ノ妾タル所生母ニ對シテハ三月ノ服及心喪三年トス之レ即チ嫡母ノ死亡ノ時ニ於テ三年ノ服ヲ着シタルモノナルカ故ナリ

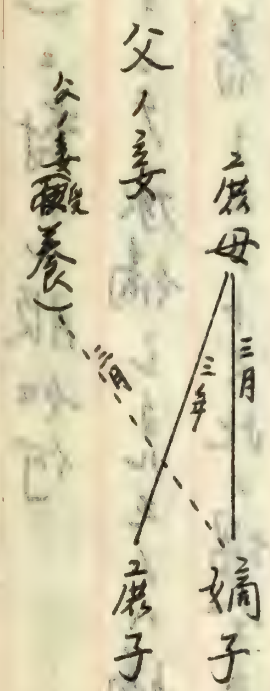
庶子カ嫡子アルトキハ嫡母及所生母ニ對シテハ各三年ノ服ヲ着クモノトス

嫡子ハ庶母ニ對シテハ養育セラレタルトキ又ハ庶

子アルトキハ三月ノ服ヲ着クモ單ニ父ノ妾タルノミニシテ養育セタル庶子モナキトキハ服ヲ着クコトナシ今之レヲ圖解ヲ以テスレハ左ノ如シ



備考　嫡子ハ父ノ妾ニ子アルトキ又ハ養育セラレタルトキハ服三月ナルモ之レナキトキハ無服



右ノ慣習ハ上流下流ノ社會ニ於テモ異ナル所ナシ然

レトモ以前ニ庶子アルモ他ヨリ養子ヲ為シタルカ如キ
場合ニ於テハ庶子ハ嫡母ノ服ニ着クコトナク之レ一
ノ悪習例ヲ為シタルコトモアリタリ

十　相續人ノ廢除

長男カ浪費者ナリトシテ之レカ相續人タルコトヲ廢除シタルコト當地方ニ於テハ慣例トシテ認メ難シ其被相續人ニ對シ虐待ヲ爲シ又ハ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルコトアルモノニ對シテハ之ヲ廢除スルノ慣習ハ詳カナラス又相續人カ疾痴其他身體又ハ精神ノ状況ニ依リ家政ヲ執ルニ堪ヘサル者トシテ之ヲ廢除スルモ其例ニ乏シク慣習トシテ認メ難シ家名ニ汚辱ヲ及ホスヘキ罪ニ因リテ刑ニ處セラレタルコトヲ以テ一般ニ相續人ヲ廢除シタルコトモナシト謂フ

被相續人ヲ殺シ殺サントシタル者等ハ刑ニ處セラ

シ相續人タルコトナシ因テ殺シタルモノハ死刑ニ處セラルヘシ又此場合ニ於テハ相續人タルヘキ者ノ子即チ孫ハ相續人タルヘシトノ觀念ヲ有ス併ナカラ此等ノ實例ニ付テハ當地方ニ知ルヘキモノナシト云ヘリ

實子ナキ者ハ其相續人トシテ弟ノ子ヲ養子トナスコトハ一般ノ順序タル慣習トナス之等ノ養子タル相續人ニシテ浪費者ナルトキハ其順序ヲ變更シ又既ニ養子トナリタル者ニテモ罷養スルコトヲ得以テ相續人ノ廢除スルコト、ナルヘシ要之實子タル相續人ニ付テハ疾病、浪費等ノ故ヲ以テ廢除スルコトナシト云ヘトモ養子タル相續人ニ付テハ此等ノ理由アルトキハ罷養スルコトヲ得ルニ依リ其相

續人廢除ノ結果ヲ生スルモノト云フヘシ

十一　本家無後トナリシヲ以テ支家ニ於テ其ノ祭祀ヲ行ヘ
来リシモノヲモ宗孫ト稱スルノ慣習アリヤ

本家ノ相續人ナクシテ斷絶スレハ支家ニ於テ其祭
祀ヲ行ヘ而シテ所謂子列ニ當ルモノ出生スルモ之レヲ
本家ノ養子ト為サスシテ子孫相継ヘテ其祭祀ヲ
行ヒ以テ之レヲ宗孫ト稱シ来リタル慣習アリ
本家ノ養子トナルヘキ子アルニ至レルトキハ之レヲ本家
ノ養子トシテ本家ヲ継カシメ祭祀ヲ行ヘ宗孫ト
ナスコトヲ普通トス然レトモ本家ニ財産モナキトキハ
之レニ養子ト為サスシテ自家ノ系統ヲ断ツヲ嫌
ヘ依テ支家カ祭祀ヲ行ヒ宗孫ヲ稱スルモノアリ或ハ
此場合生養家奉祀トシテ本家ノ祭祀ヲ行フモノ

モアリ
本家ノ祭祀ヲ支家カ之ヲ行ヒ養子トシテ本家ノ後ヲ継クニ適スルモノアルニ至ルトキト云ヘトモ之ヲ行ハスシテ支家ニ於テ祭祀ヲ行フト云フコトハ理論ニ於テ違反スルモノト云フヘシ實際ノ慣例ト観念ニ於テハ支家ニ於テ祖先ノ祭祀ヲ行フコトモ又違法ニアラスト観セリ

長湍ニ於ケル調査

郡守 李成鎬

郡屬 洪河奎

朴允甫

儒生 郭燦

一 相續財産ノ分配

相續財産ノ分配ニ付テハ其分配率ハ被相續人ニ於テ定ムルヲ普通トシ又被相續人ニ於テ長男即チ相續人ニ多ク分シ次男以下ニハ少ナクスルヲ通例トス而シテ必ス一定ノ率アルニアラサルモ大抵長男ト次男ト二人ナルトキハ長男ニ財産ノ三分ノ二ヲ與ヘ次男ニ

三分ノ一ヲ與フルヲ一般普通ノ例ナリ又三人以上ニ分配スルトキハ長男ニ財産ノ五分ヲ與ヘ其他ノ次男三男四男等ニハ殘餘ノ五分ノ一ヲ與ヘ分割セシムルモノトス萬一被相續人カ之レ等ノ分配ヲ定メサルトキニ於テモ大抵前記ノ例ニ依リ分配セラルヽモノトス

一被相續人カ右ノ分配率ニ據ラスシテ若シ長男ニ少ナクシ次男以下ニ多ク分配スルカ如キコトナキニアラス之レ又慣習上妨ケナキ處ニシテ被相續人ノ自由ナリト云フヘシ亦併如斯ハ稀有ノコトニ屬スルモ之レヲ不法ナリ無效ナリト云フヘキニアラス之レ尊屬父母ノ命ハ絶對ニ從フヘキモノトノ道義ヲ重シタルカ故ナリ

嫡子ト庶子トノ間ニ於ケル相續財産ノ分配ニ付テモ
又嫡子ニ多クシ庶子ニ少ナクスルコトハ一般ノ通例ナ
リ其率ニ付テハ一定シタル處ナシト云ヘトモ普通ハ
嫡子ノ受クル半分位トナセリ仮併時ニハ庶子ニモ
嫡子ト同樣ニ與フルモノ又ハ嫡子ヨリモ多ク受
クルコトナキニアラス
女子ニ付テハ相續財産トシテ分配ヲ受クルコトナ
キモ婚姻ヲ爲ス場合等ニ於テ幾分ノ財産ノ贈
與ヲ受クルコトモアリ

二　相續ノ承認ト財産ノ分離

相續ハ前戸主ノ權利義務ノ一切ヲ承繼スルモノニシテ即チ財産ノ全部ヲ承繼スルト同時ニ其債權債務ノ全部ヲ承繼スルモノナルヲ以テ之レカ債權又ハ債務ノ一部ヲ承繼シ又ハ承繼セス即チ限定承認ト云フコトノ慣習ナシ故ニ相續財産ヲモ前戸主ノ債務カ多額ナリトノ故ヲ以テ其相續財産ノ限度ニ於テ相續ヲ承認シタルカ如キ慣習ナシ相續ハ常ニ單純承認タルヘキモノトス

相續人ハ相續ノ拋棄ヲ為スコトヲ得ル慣習ナシ

相續ノ限定承認、拋棄等ノ制度ハ將來起ルヘキモノニシテ可ナルカ如キモ現今ノ状態ト一般ノ觀念

二於テ親ノ後ヲ継クニ於テ道徳上不可ナリト謂ヘリ
被相続人ニ對スル債權者又ハ相続人ニ對スル債權者等ヨリ相続財産ト相続人ノ財産トヲ分離シテ各其債權ノ弁濟ヲ受クルトスルカ如キ所謂財産分離ニ関スル慣習モ行ハレタルコトナシ
遺留分ニ関スル慣習ナシ

三　宗中、門中財産

宗ノ財産、門中ノ財産ト稱スルモノハ宗孫ノ所有ト為スヘキモノニアラスシテ宗又ハ門中ノ共有財産ト為スヲ普通トス然レトモ墳墓、山坂ノ如キモノハ宗孫ノ所有ト為スヘキモノニシテ其他ノ財産ニ於テモ宗孫ノ所有タルモノ又ハ宗、門中ノ一部ノ者ノ共有ナルモノモナキニアラス之レ其所得ノ原因、特殊ノ約束ニ依リ異ナル所ノモノナリトス

宗中、門中財産ノ管理ニ付テハ宗孫之レニ當ルモノ多ク又特ニ定メタル宗、門中ノ者ニ於テ管理スルモノアリ之レ等ハ宗、門會ニ於テ定ムルヲ普通トス

宗、門中ノ財産ヲ處分スル必要アルトキハ宗、門中ノ協議ニヨルニアラサレハ處分セサルヲ常トシ又門中ノ重ナル者ニ於テ協議、承諾ヲ爲スニヨリテ之レヲ決スルコトモ當地方ノ慣習ニ於テ認メラルヽ處ナリ然レトモ之レニ多数ノ異議アルトキハ再協議ニ附シ又一般門中協議ニ對(計)ル外ナシ

門會ノ議決ハ多クノ場合長老ノ説ニ從フテ議決セ(ラ)ルヽモノナリ然レトモ両説数説ニ渉ルノ時ハ多数決ニヨル(リ)テ決スヘキモノトス

門中ノ代表

宗孫カ相當年令ニ達シ而シテ有識ノモノナル

三 トキハ多クノ場合宗孫之レカ代表者トナルヘシ然

レトモ代表ハ宗孫ニ限ルモノニアラス財産ニ関スル事項等ニ於テハ門中他ノ者ヲ適當トスルトキハ其門中有力ナル者ヲ代表者ニ選フコトアリ但祖先ノ祭ヲヲ行フカ如キ場合等ハ宗孫之レカ代表者トナリ主催者タルヘキヲ一般ノ慣習例トナス

四　庶子アル者カ他ヨリ嫡子ヲ養子ト為スノ慣習アリヤ

古来庶子アルモノハ養子ヲ為サヾルモノトセルモ李朝ノ初頃領議政黄喜ハ庶子ヲシテ重要ナル官ニ任セサルコトニナシタルヨリ以来庶子アルモノモ他ノ嫡子タルモノヲ養子ト為ス様ニナリ遂ニ慣習トシテ行ハレ来レリ然レトモ之レハ重ニ上流ノ家ニ於テ行ハレタルコトニシテ中流以下ノ一般ニ於テハ行ハルヽコト少ナカリシモノナリ而シテ此慣習ノ如キハ悪キ慣習ナリト思フト云ヘリ

現今此慣習甚タ少ナクナリ一般ニハ庶子アルモノハ他ヨリ養子ヲ為サヾルコトヽナレリ

ハ同シ一義ナラスト為スハ非ナリトスルモノ
現今此慣習ハ漸ク廃レ一般ニハ[illegible]
リト認メラル[illegible]
キカ如シ[illegible]此慣習ノ由来[illegible]慣習ニ
[illegible]流行シ[illegible]ニ至リ[illegible]
ト為シ[illegible]
[illegible]
[illegible]ノ養子[illegible]
[illegible]
[illegible]養子ト為[illegible]
ニ止ル
四 養子[illegible]

五　女戸主

女戸主ノ慣習アリ

戸主死亡シ家ニ男子ナク且相續人トナルヘキモノナキトキハ其妻カ戸主トナルモノトス然レトモ其家ニ母アリ又ハ祖母アルトキハ祖母、母ヲ先以テ戸主トナスモノトスルモ妻ニ於テ女子アリ且相當年令ニシテ家政ヲ執ルニ適スルトキハ實際上ノ戸主ノ業務ハ妻ニ於テ之ヲ爲スコト多シ故ニ慣習上女戸主トナルヘキ順序ハ祖母、母、妻、女ノ順位ト爲ス但實際ノコトハ妻之レヲ行フコト多カルヘシ

又母アリテモ妻カ戸主トナリシ例モナキニアラス然レトモ妻ハ財產ヲ處分スルニハ必ス母ノ承諾ヲ得

ヘキモノトナシ又他家ニ入ラムトスルトキハ財産ヲ家ニ止ムヘキモノト謂フ

家ニ相續人ナク女戸主モ死亡シ女モナキトキハ無後ノ家トナル如斯場合ノ財産ハ親族ニ歸セシメ其最近ノ親族ヨリ之ヲ歸セシムルモノトスルモ何レヲ遠キ親族マデニ及フヤ一定ノ慣習トシテ知ルヘキ處ナシ又此等ノ親族モナキトキハ村ニ於テ其財産ヲ管理シ其家ノ祭祀ヲ行フコトヽナル

六　宗家ノ無後ト支家ノ祭祀攝祀

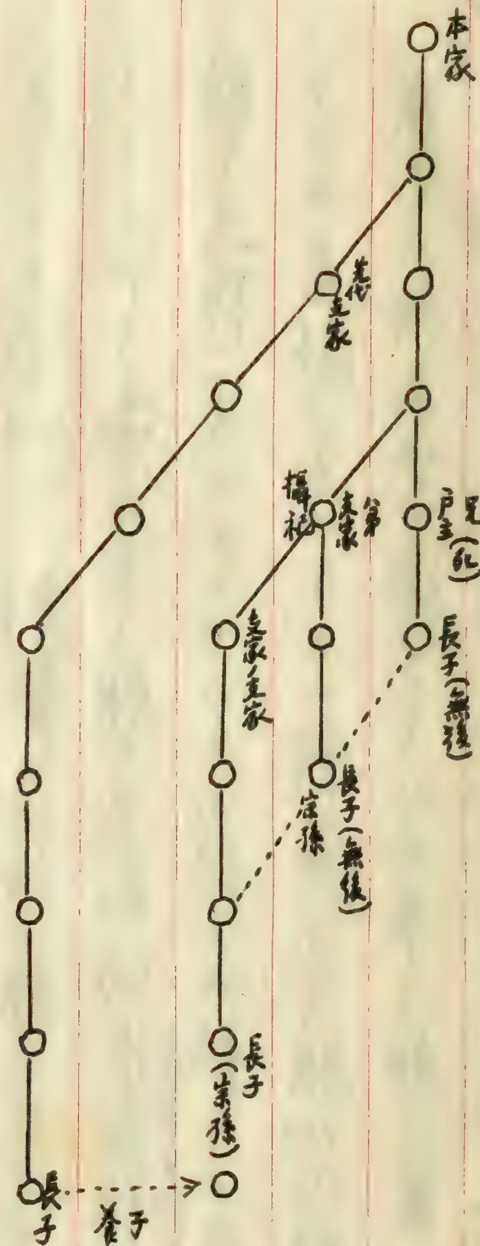
宗家ニ相續人ナキトキハ支家ノ長男ト云ヘトモ本家ニ入リ相續人トナルヘキヲ本則ト爲ス支家ニ未タ男子ナク爲メニ支家即チ本家戸主ノ弟ノ家ニ於テ（本家ノ長子ナクシテ死亡シタルトキハ分家ノ男子）本家ノ祭祀ヲ攝祀スルコトアリ而シテ其支家ニ於テ本家ノ相續人トナルコトヲ得ル男子アルニ至ルモ之レヲ本家ノ養子トセス其マヽ續ヘテ支家ニ於テ攝祀ヲ行フモノモアリ本家絶後ナルヲ以テ支家ノ子孫ヲ宗孫ト稱スルノ慣習モ亦之ヲ認ムヘキモノニシテ系譜モ又右ノ慣例ヲ認メタルアリト謂フ

右ニ準シ若シ第一ノ支家カ無後トナリタルトキハ支

家ノ支家カ其祭祀ヲ攝祀シ以テ其宗ノ宗孫ヲ稱スルコトモ慣例上認ムヘキモノトス

右ノ如ク本家ノ養子トシテ支家ノ長男ヲ入レシムルハ即チ絶家再興ノ形トナルモノニシテ本家ノ財産ノ多イトキハ如此自己ノ家ヲ絶シテモ本家ニ入ルモノアルモ自家ニ財産アリ本家ニナキトキハ多クノ場合本家ニ入レルコトナキハ實際ノ例ナリ

先代ノ支家ヨリ後代ノ支家ナル前記ノ宗孫トスル家ニ養子ニ入ルルニ長男ヲ以テスルコトヲ得ルコトモ慣習上認ムヘキモノナリト謂フ圖解左ノ如シ


本家
支家
兄
戶主(死)
長子(無後)
弟
攝祀
支家ノ支家
長子(無後)
宗孫
長子(宗孫)
長子
養子



七

庶子承嫡ト朞服

庶子ハ所生母ニ對シテハ三年ノ服ヲ着タルヘキモノナルモ兼嫡シタルトキハ降等シテ服ハ小祥一年ヲ經テ大祥ニ入ルモノナルヲ小祥ヲ大祥トシテ畧スモノトナリ即チ當三年ノ服ナルモ唯初期満一年ノ時ヲ大祥トシテ服ヲ着タルヲ當地方ノ慣習トス故ニ服三月ニシテ心喪三年ト云フモノニアラスト謂フ

養子カ生母ニ對スル服モ亦右ニ同シ

養父母ノ生母ニ對シテ服スル亦之ニ同ジ
年トハ[illegible]ヲ謂フ
喪ハ父母ノ當然ノ中陰ト定ムル故ニ服ハ之ニ同ジクシテ心喪三
十ヲ以テ爾ニ從テ三年ノ服トナス然レドモ大祥ヲ以テ服
祥ノ大祥ニ入ルモノトナサズ小祥ヲ大祥トシテ三年ニ至ル
十ナリ其輪ニテナリヲ除キ喪ニテ服ハ小祥ノ一年
喪主ハ所生母ニ對シテハ三年ノ服ヲ為サシムベシ
七 喪主承嫡ノ義服

長淵ノ農夫歌　감닉기

往カウカ　往カウカ　妊ヲ隨フテ　往カウカ

갈가보다 갈가보다 님을따라 갈가보다

モヤシ子ヲ　チウタク喰ヘド　妊ヲ隨フテ　往カウカナ

콩나물쏙을 쏙쏙쌜면셔도 쌈(남)을쏘차 갈가보다

百分ノ一ツナラ　堯舜時節チヤナイカ

빅분에 일하면 요순시절이아닌가

百分ノ半ナラバ　秦始皇ノ苛政ナリ

빅분에 반하면 진시황의가졍이라

흔 배므로 호 흐박호, 반스 박의 부 봉으로 봐

[illegible]

흔 배므로 호 그배 박 토, 매 [illegible] 으 우 노 우

[illegible]

저우

[illegible]

[illegible]

[illegible]

누배 누 페 우 누 우 페 우 [illegible] 누 우 페 우

[illegible]

[illegible] 大 [illegible] 누 조 느

信川ニ於ケル調査

信川郡守 李宜豊
郡屬 青山利世
信川面長 崔東詢
鄭載煥

年中行事及風俗慣例

（當地ノ行事ハ旧暦ニ依ルモノナリ）

舊正月

(一) 歳拜

歳拜ト稱シ近キ所ノ近親ノ間ヲ正月ノ一、二日中ニ廻禮スルコトヽシ遠キ所ヘハ四、五日中ニ廻禮

スルモノトス但シ女ハ廻禮スルコトナシ女ニテモ小兒ハ
別ナリ同シク廻禮スルモノナリ

（一）廻禮スル人ニ付テハ大抵四十歳以下ノモノニシテ四
十歳以上ニ至ルモノハ身ノ上ノ人ノ所ヘ廻禮スルノ
ミナリ四十歳以下ノ人ハ近親者ノ所或ハ友人ノ極
メテ親シイ所ヘモ廻禮スルモノトス

廻禮ニハ小兒ハ新ラシキ衣服ヲ着シ近親ヘ廻リ幼
少ノ者ハ人ニ連レラレテ廻ル而シテ其禮式ノ仕方ハ
普通ノ禮ト異ナル所ナク一度禮ヲ行フ

禮辞ハ換歳安寧デスカト云フ之レニ對シテノ
ノ答禮辞ハ相手カ商人ナラハ今年ハ多ク儲カ
ルデシヨト云ヘヽ青年ナラハ本年ハ嫁ヲ貰フテシヨヽ

少年ナラハ勉強シナサイ、ト云フカ如キヲ以テス
廻禮ノ小供等ニハ老人達ハ果物、菓子、或ハ金
銭等ヲ與フ慣習アリ大抵（以前ハ）葉銭四五分
ナリシカ現今ハ五銭乃至十銭位ヲ與フ但シ之レ
等ヲ與フルハ十歳以下ノ小児マデナリ
喪服ノ人ノ家ニハ親類ノ人ハ廻禮ニ行クモ喪服ノ
人ハ朝ハ廻禮ニ出デサルモノトシ午後ハ同ジク近親
ヲ廻禮スルモノトス

(二) 元日

元日ノ朝ニハ祠堂（祖先ノ位牌ヲ祀レル祭壇）ニ拜
禮ノ式ヲ行フ此日ニハ家内一同良キ衣服ヲ着ル
十二月ノ大晦日ニモ祠堂禮拜ヲ為ス之レ等ノ禮拜

茶禮ト謂フ

茶禮ニハ餅、饅頭、酒、果物等ヲ供フ

(三) 正月ノ休日

正月ニハ昔ハ十五日頃マテ一般ニ其業ヲ休ミタルモノナルモ近時正月ノ休ムハ元日ヨリ五日間位ニナレリ

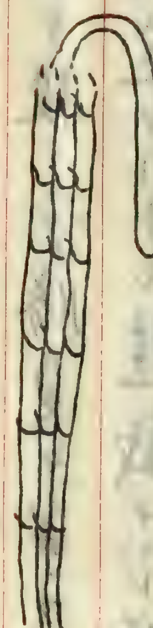
尚田舎ニハ十五日頃マテ一般ニ休ム所モアリ休日ノ間商人ナラハ店ヲ閉サス而シテ休日中ニ遊戯、娯楽行ハル

(四) 正月ノ遊戯

小兒ヤ女子ハ板飛又ハ跳板（널뛰기）ナル遊ヒヲ為ス板飛ハ各地トモ行ハルル遊戯ナリ

男ノ子供ハ正月十五日ニハ俗ニ自己ノ厄（厄月ノ意味）ナ

リトレテ炬(頭)即チ松葉、萩又ハ粟殻ナ以テ松火
(左)ノ様ニ造リ之レヲ持チテ満月ノ昇ルトキ山ニ登リ火
ヲ點シテ焼クコトヲ行フ而シテ松火ニハ紙ヲ貼リ又
ハ垂レテアリ左圖ノ如シ



松火ニ貼付シタル紙ニハ
婆娑世界南贍部洲海東朝鮮　道　郡
里姓名年若干今年金(木、水、火、土)即チ自
己ノ星廻リヲ記入スルモノナリ)諸厄一切消滅……
某年元月　日　祝願
ト記載スルヲ例トス而シテ之ヲ行フ小兒ハ大抵十

五才以下ノ者ナリ又右ハ一ハ遊戯ノ傍ハラニ行フモノナレハ老年ノ有無ニ拘ハラス一般ノ小児カ之ヲ為ス所トス

又男ノ子供ハ紙鳶ヲ揚ケ、獨楽ヲ廻シ大人ハ将棋ノ遊ヒヲ為シ又擲柶ナル遊ヒ等アリ擲柶ハ（員ストモ云ヘ）遊戯具ノ一種、圓木ヲ割リタル四箇ノ棒木ヲリナリ之ヲ投シテ勝負ヲ争フモノナリ

婦人ニハ定マリタル遊戯ナシ時ニハ擲柶位ヲ行フコトアリ又板片五枚ニ金木水火土ノ各字ヲ記シタルモノヲ以テ遊フ之レヲ投シテ吉兆ヲ占フモノトス

（五）男子ノ縄綯

正月ノ二十日頃マテノ内ニ於テ男子ハ縄綯ヘヲ行フ

凡ソ十人位一團トナリ金氏ノ家ニテ一夕、其次キハ朴氏方其次キハ鄭氏方ト云フカ如ク二一夕ツヽ順々ニ之ヲ行フ良習アリ

(六) 初卯ノ日

正月ノ初卯ノ日ニハ女子ハ他人ノ家ニ行カヌト云フ慣習アリ故ニ此日ニハ女子ハ外出セサルコトヽセリ 初卯ノ日ハ年々ニ依リ何月日ニ當ルコトアルモ元日ニ日ニ當ルコトアルモ其ノ日ハ他人ノ家ニ遊ヒニ行カザルモノトセリ

卯ノ方向ハ東ニアリ諺言ニ

春東卯青女

ト云フ語アリ春卯ノ日卯ノ方面即チ東ノ方ヨリ

女ノ青袴ヲ着ケタル人カ来レハ縁喜カ悪イト云フコトナリ故ニ女子ノ外出カ總テ行ハレサルニ至レルモノナリト

(七) 十五日ノ晩

百姓ノ家ニテハ十五日ノ晩ニ綿木ヲ木ノ枝ニ挿シ屋根ノ上ニ置ク風習アリ而シテ之レノ多イ程運カ良イト謂フコトヽセリ

女子ハ十五日晩ニ飯ト餅トヲ作リ水ノ在ル即チ川又池ノ如キ場所ニ之レヲ放ツ之レハ龍ニ食ヲ與フレハ其年水害ナシトノ傳ヘ来タルモノナリ

元日ノ晩及十五日ノ晩ニハ家屋ノ内部隅々マテモ明ルクシ油火又ハ蠟燭等ヲ點シ寐ルトキハ油火及

自分ノ下駄、草履等ノ履物ヲ總テ室内ニ入レ之レヲ
隠ス風習アリ之レハ同夜ニハ魔カ来タリ下駄
等ヲ嗅ギ見ルト云ヒ然ルトキハ其ノ人ハ死スルモノ
ナリト云フカ故ナリ

(八) 立春ノ帖子

立春ハ舊ノ十二月又ハ正月ニ當ルコトアリ

(一) 朝鮮ニハ門ノ入口、柱并ニ室ノ入口上部等ニ文字ヲ書
キシ紙ヲ帖ル習慣アリ之ヲ帖子ト云フ而シテ帖子ハ
毎年立春ノ日刻ニ貼替フルモノトセリ
帖子ハ朝鮮紙又今頃洋紙等ヲ用ヘ文語ハ何レ
モ吉例ノ文字ヲ以テス例ヘハ

立春大吉

建陽多慶

天増歳月人増寿

春満乾坤福満家

等ノ類ニシテ其古キ帖子ハ取リ捨テルモノナリ

舊 二月

(一) 寒食日

此日ニ當リテ祖先ノ墓参リヲ行ヒ供物ヲ為ス又墓ノ修理、除草等ヲ行フヲ例トス寒食日ハ冬至後百五日目ニ相當スル日ヲ云フ舊ノ二月又ハ三月ニ其日ニ當ルコトアリ陽暦ニテハ三月中ニ當日アルヲ常トス

寒食日ニテハ今ヨリ三十年以前ニハ郡守ヨリ命令ヲ出

タル木ヲ植ヱルノ慣例アリ本郡ニ於テモ行ハレ相當植樹ヲ爲シタル所ニシテハ毎ニ或ハ庭、或ハ野、山ニ一二本ツヽニテモ植ヘタルモノナリト云フ

(二) 二十日

舊二月二十日ニ空ニ雲アリ曇天ナルトキハ其年ハ豊年ナリトシ雲一点ナケレハ凶年ナリト云ヒ傳ヘ然レトモ鳥カ太陽ヲ陰ケニシテ飛フトキハ良イモノトシ凶年ニアラズト云フ一ノ迷信ノ如シ現今之レヲ云フモノナケレトモ老年ハ今尚皆謂フ處トス

(三) 干醤ヲ造ラサル時期

二月中ニハ醤油ノ醸ヲ造ラズト云フコトアリ又糀アリテモ之レニテノ醤油ヲ造ラスト言ヒ傳ヘ来タレリ

又二月ニ作リシ醤油ニテハ祭日ノ料理ニモ用ヘスト
モ云フ

（四）種蒔キ

二月中ニハ春麦種蒔キ
二月二十日頃ニハ水稲種蒔キ

舊三月

（一）作詩

三月三日ニハ詩ヲ作ル遊ヒヲ為スノ風習アリ其日
同志等景色ノ良キ所山又ハ野或ハ別荘、邸
宅等ニ於テ相集マリ詩ヲ作リ杜鵑花ヲ煮テ
食シ酒ヲ飲ミ妓アレハ妓ヲ連レルモノモアリ而
シテ此會ハ晝間行ハルルモノニシテ普通同志者

五六人乃至十人位ノモノトス當日ノ作詩ハ互ニ之ヲ賞賛スルモノナリ

(二) 三月ノ寒食日

寒食日ハ大抵舊正月ニ在ルモノナルモ時ニハ三月ニ入ルコトアリ此三月ニ入リテ寒食アルトキハ墓参リヲ行フモ其墓ノ草ヤ土ヲ動カサズト云ヒ除草、土工ハ悪イト稱シ之ヲ行ハサルモノトス

舊四月

浴佛日

八日ハ釋迦樣ノ誕辰日ナリ此日家ニハ色紙ヲ以テ造リシ燈ヲ高ク揚ケタリ又ハ花火、爆竹ノ類ヲ放ツコトアリ當日ハ休日トナス當地方ニテハ

當日寺院ニ参詣スルコト少ナシ唯各自家ニ於テ業ヲ休ムモノトス

八、舊五月

端午

舊五月五日ハ端午ト稱シ一般ニ休日ト為ス其日ハ男女晴衣ヲ着ケ隨所ニ遊ヒ戯ル時食トシテノ剤（俗稱馬蹄草）ト稱スル草ノ葉（形栢ノ葉ニ似タリ山ニ生スル草）ニ餅ヲ巻キ包ミ葉共ニ之ヲ食スノ慣例アリ剤ノ葉ハ山寺等ニ於テハ常ニ食用ニ供スルモノナリ

(一)

端午ノ遊ヒハ男子ハ角力ヲ行フ其日邑内ノ市場又ハ村ノ廣場等ノ空地ニ於テ多人数集会之ヲ

行フモノ之ヲ見物スルモノ等アリ角力ハ手拭、棉布ヲ以テ雙方各片足ヲ縛リ之レヲ相手方ハ各各片手ニ握リテ相撲フモノナリ何レカ倒レタルモノハ勝チト爲ス所ニ依リテハ之レニ賞ヲ與フルコトモアリ、賞ハ有志ノ寄附ニ出ヅルモノトス

女子ハ鞦韆ト云フ遊ヒヲ爲ス即チ「ブランコ」大樹ノ枝又ハ二本ノ柱ヲ立テ中間ニ横木ヲ渡シ之レニ太キ綱二本ヲ下ケ下部ニ小横木ヲ縛リ附ケ之レニ乗リ前后ニ運動スルモノナリ、鞦韆ハ男子モ行フコトアルモ概シテ婦女子ノ遊ヒト爲セリ

茶禮

端午ノ日ニハ朝茶禮ヲ行フ 祠堂ヲ開キ神前ニ

酒、肉ヲ供シ禮拜ヲ行フ

採艾

此日艾（ヨムギ）ヲ採リ薬トナス艾ハ漢薬ニ使用スルモ特ニ此日ニ採取シタルモノヲ最モ良シト為ス日ニ乾カシ之ヲ蓄フ重ニ腹ノ痛、下痢等ノ場合ニ最モ良ク效アリ而シテ白痢ニハ良シ赤痢ニハ效カスモノトセリ白痢ニハ食後ニ飲ム朝、晝、夕食ノ三回ニ服シ二日間位ニテ治スルモノトス即チ白痢ヲ包ツミテ下出スルモノナリト云ヘリ但多ク飲ムト眼ヲ痛ムト云フ、腹痛ニハ能ク效アリ端午ノ日ニハ皆ナ競フテ採取ス、又艾ハ食シテモ良味アリ日ニ乾カシ細カニシテ餅ニ入レ團子トシテモ食ス

端午ニ薬水ヲ喰ムノ慣例當地方等ニナシ

舊六月

十五日ヲ流頭ト云ヒ一般休日トハアラス此ノ日甘瓜、麦餅ヲ作リ食スルノ習例アリ而シテ此ノ頃ハ農家ハ最モ繁忙ナルトキナリ

此ノ日雷ガ鳴ルトキハ其ノ年ハ豊年ナリト言ヒ傳ヘ来レリ

舊七月

(一) 七夕

七日ヲ七夕ト稱シ盛ナラサルモ老年等ハ相集リ酒ヲ飲ミ餅ヲ食フナトシテ遊フコトアリ

(二) 百中

十五日ヲ百中ト云ヒ農民ハ一般ニ業ヲ休ム此日ヲ又洗鋤ト云フ此ノ日ハ餅ヲ造リ酒ヲ飲ミ、鐘鉦、太鼓ヲ鳴ラシ舞ヒ踊ル百姓ハ一定ノ場所ニ寄リ集リ楽ミ遊フノ風習アリ

舊八月

秋夕

此月十五日ヲ秋夕ト云フ米穀ノ收穫シタル秋ニシテ一般ノ休日トナセリ此日ニハ祖先ノ墓参リヲ行ヒ墓前ニ供物ヲ為シ酒、魚類、鶏肉等ノ年中第一ノ馳走ヲ為ス日ナリ

墓カ遠隔ノ地ニアルモ此日ハ特別ノ事由ナキ限リ努メテ墓参ヲ為スモノトセリ

舊九月

重陽

九日ヲ重陽ト稱シ菊ノ在ル所ニ行キ酒ヲ飲ミ詩ヲ作ル等ナシテ遊フ此日ハ一般農家ニ在リテハ休日トナス

舊十月

(一) 時祭、山祭

舊十月中ニ時祭ナルモノ行ハル又之レヲ山祭トモ云フ一門カ相集リ山阪祖先ノ墓ニ祭ヲ施行ス而シテ門閥家ニ行ハル支派支家ヨリ相集マルモノニシテ五代以上ノ繼續シタル家ニ行ハル

時祭ノ日ハ各門中ニヨリ異ナルモノトス一度日ヲ

定メタルトキハ毎年其日ニ行フモノトス
時祭ノトキ墓ニ酒、魚、牛肉、果物、野菜物等ヲ
供ヘ集マレル門中ノ者参列シ式ヲ行フ此場合ニ
祝文ヲ讀ム祝文ヲ讀ムモノハ宗孫ニ限ラス一門
中ノ識者ニシテ讀マシムルモノトス之ヲ門長カ指
定スルヲ例トス

祝文ノ例

維歳次甲寅十月　朔　日干支幾代孫　某

敢昭告于

顯幾代祖考學生（爵位）府君

顯幾代祖妣某封某氏歳遷一祭禮有中

制履玆霜露彌增感慕謹以清酌庶羞

恭伸奠獻歲事尚饗

又ハ

歲序遷易草木歸根之時追遠感時

等云々

(二) 天馬日

十月中二戌初午日ヲ天馬日ト云ク此月中ニ戊午日ナケレハ初午日ヲ天馬日ト云ク此日婦人ハ餅ヲ作リ食スノ風習アリ

舊十一月

冬至

冬至ノ日ニハ粥ヲ作リ食ス小豆ヲ入レタルモノナリ

今尚行ハル

舊十二月

大晦日

末日ハ一年ノ終リニシテ大計算日ナリ普通ノ貸借ハ共ニ決濟スヘキモノトス當地方ニ於テハ日常取引上ノ決算ハ年ニ一二回或時期ニ行フモノトスルノ慣習アラスシテ取引ハ現金或ハ當座貸借トシ短カイ間ニ決濟スルモノナルモ時ニハ年末マデ殘額アルコトアリ之等ハ一切計算スルモノトセリ

歳末ハ贈答ノ慣習アリ師、恩人、或ハ醫者等ニ鷄卵ノ類ヲ贈ルヲ通例トシ又多額ノモノニアラス書堂ノ禮モ同様行ハレ

迷信ト、民謡

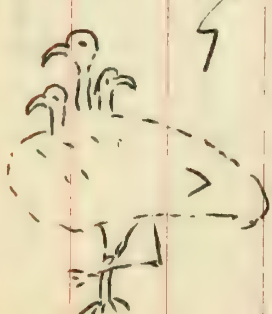
正月初卯日

此日ニ白絲ヲ自分ハ年ノ数程巻キ帯ニ下ケテ歩ケト良イト云フ男女トモニ之ヲ行フ

厄除ケ

四柱八字ニ依リ（四柱八字トハ生レタル年、月、日、時ノ四ツノ干支ヲ云フ）其年三災ニ當ルモノハ（三災トハ不吉ナル運星ノ一種ニシテ水災、風災、火災ヲ云フ）左記ノ文句ト繪トモ画キ室ノ入口ノ上ニ貼付シテ置ケバ災ヲ免カルト謂フ

三頭一足鷹
没呑三災鬼



農歌

遲(オソ)レル〱　煙草ノ時間ガ遲(オソ)レル

느져갓네〱　담비참수느져가네
(ヌヂョカネ〱　タムベーチャムスーヌヂョカネ)

煙草ノ時間ガ遲レタト云ハナイデ手早ク働ケ

담비참수느졋다말고손목자조놀니게
(タムベーヂャムスーヌヂョッタマルコソンモクチャヂョノルリケ)

今日ノ日モ半分過ギタガ余ノ腦冷カナリ

오날ᄒᆡ도반겨슨즉　요너가삼쌀々ᄒᆞ네
(オナルハイトパンケスンチュク　ヨナイカサムザルザルハネ)

麻襦袢ニ風ガ觸レテ冷カナリ

모시젹삼에바람이풍겨쌀々ᄒᆞ네
(モシチョクサムエパラムイプンゲザルザルハネ)

之ノ水田ハ水ガ好クテ一千ノ枝ガ懸ッテアル

イーンベム イ ムル ヒ チョワ イルチョンカヂ ケルリョッスニ
이논뱀이 물히 조와 一千가지 걸려스니

一千枝ガ懸ッテアル沓ニ三千石ハ出来ナイジャロウカ

イルチョンカヂ ケルン ノンエ サムチョンソク イン ドゥル アニ ナルカ
一千가지 걸닌 논에 三千石인들 아니날가

ヨッダン バッテカラ チナン バラム イ ブルメン モル ケッネ
엽당 밧데가라지는 바람이 불면 모르깃네

隣ノ畑ノ蒭ハ風ガ吹ケバ知ラナイヨ

之ノ水田ノ永生ノ稗ハ目ニ迷ッテ知ラヌ

イノンベム イ ヨンサン トルピ ヌンエ アムアム モル ケッネ
이논뱀이 영싱 돌피 눈에 암々 모르깃네

今日ノ日ハ暮レタカ、山峯毎ニ蔭ガアル

オヌル ハイト タ カッナンチ サンボンマタ クヌル カッネ
오늘 히도 다 갓노지 山峯마다 그늘 갓네

日ガ暮レタ蔭カ？、山ガ高クテ蔭ニガナッタノデアル

히가다가그늘갈가、사이놉하그늘가지

蠶歌

蚕ヲ養ヒテ桑取リニ往カウ、千丈ノ岸ニ春ガ来タ

누이노코 뽕따라가세 千길낭에 봄왓슴네

点々綴ツタ脊高イ編髪、連ノ桑ノ木ニクルクル捲キ着イテ居ル

심々얼근키 변평발、줄뽕나무에 휘々칭긧네

朝飯ヲ山マク喰ワセ、揃ツテ生レタノヲ皆席盆ニ混ジテ置ク

아츰조반 달게먹고、죄난색반 죄색거노엇네

菖蒲匙著蓮葉鉢(器食)、朝夕ニ出シテ呉レ

장풍수져 연입바리、아츰조석으로 노와주게

苧麻襦袢、裏襦袢、嬋妍タル裳ニ色ヲ染メテ呉レ

モシ チョクサム ソク チョクサム ヨンヨン チョル サング ムル トゥリョ チュゲ

모시 적삼 속적삼、연연 칠상 물드려 주게

上大峯歌

世王様嶺ヲ越シテ往ク、已ノ往ク途ハ千里ナリ

セイワンニム チィノモ カコ ウリ カル キル チョルリロタ

세왕님 지너머 가고、우리 갈 길 천리로다

今往クトモ千里ハ往ケマイカ、疲レタ驢馬ヲ驅ルナ

イジェー カトン チョルリ モッカリヤ チッチョン ノセ モル チマラ

이제 간덜 千里 못가랴 지친 노새 몰지마라

今日ノ日モ暮レテ瓦礫馬夕飯ニ歸ヘル

オーナル ヘイト タ カッヌンデ ウェーヌマーリ ソクパン カンダ

오날 희도 다 갓는데 왜누마리 석반 간다

瓦礫馬夕飯ニ歸ルカラ、余レ等モ夕飯ニ往カウ

ウェヌッマリ ソㇰパンカンデー ウリネエト ソㇰパンカゲ
왜누따리 셕반간데 우리네에도 셕반가게

日が暮レル〳〵千丈ノ裏ニ日が隠レル

ヘイネリョカネ〳〵チョㇽキㇽ ソㇰエ ヘイナリョカネ
희나려가네〳〵 千길속에 희나려가네

水中ニアル龍女阿只 金錚盤ニ日ヲ貰ヘ

ムルアレイ イッヌン ヨンメイキ クㇺチンパンエ パダカゲー
물아릐 잇는 용며이기 금징반에 바다가게